

2020年度から小学校では新しい学びが始まりました。詳しくは[ここ](#)
子どもの学習の基礎基本 実物を探す・観る・触れるなどの体験が大切
この場所・この時期・この時間の生き物とのふれあいを提供します。

当日の様子のリック先

①7月31日(土) [「そこにいる虫たち何してる」](#)

②8月7日(土) [「どんぐりと動物たちのひ・み・つ！」](#)

③8月21日(土) [「アリの行列を見よう」](#)

④9月11日(土) [「夜か大好きな生き物たち」](#)

スマホの方はQRコードで見られます。

センスオブワンダー2021報告



海上の森は「自然の仕組み及び人と自然のとの関係について理解を深める場」と海上の森条例で位置づけられています。令和2年度の教育課程変遷にもなって新しい教科書にSDGsについて学ぶようになりました。今回駐車場というフィールド、夏のこの時期、たそがれどきという限られた場所・時期・時間の中での活動を通して広い海上の森へ目を向けていただければと計画したところ80名を超す応募がありました。

人は身近な里山から食料を苦労して調達してきました。しかし今や食料を輸入に頼るところが大きくなり、生活と環境のつながりが希薄になりました。そこで、食べ物を求めて歩いて探し回る身近な生き物としてアリ、獲物が来そうなところで待ち構えたりわなを仕掛けてじっと待つ身近な生き物としてクモ、厳しい冬を乗り越えるために貯食としてのドングリをテーマに「生活と環境のつながり」について子どもたちに関心のあるテーマでSDGsを学ぶプログラムを組みました。

参考 令和2年発行の小学校教科書より

SDGs（エスディーズ）という言葉が新聞でもテレビでも学校でもよく聞くようになって聞いた人もいます。SDGsを日本語にすると「持続可能な開発目標」になり17の目標が掲げられています。「持続可能な開発目標」をやさしく言うと「無駄をなくしていつまでも今の地球環境を残して今もこれからも多くの人々が豊かな暮らしを送れる社会を作りましょう」そのためにできることは

1. 生活と環境のつながりを考えよう。
2. 物やエネルギーをどう使うか
3. 環境のことを考えた生活を続けよう

[6年生家庭科](#)でまとめられています。

その他[理科](#)や[社会](#)や[国語](#)の教科書にもまとめられています。

[その他小学校教科書に出てくる自然関係の教材](#)